

エクストリームシリーズ 2023 尾瀬檜枝岐大会

■優勝チーム コメント

『ふきのとう』

中田 落子さん

尾瀬檜枝岐大会 エクストリームシリーズ最終戦、年間チャンピオンが決まるレース。

3レース終わって暫定一位だが、2位とは20点ほどの差なのでこのレースで負けると年間優勝はどうなるかわからない。絶対に負けられない戦いだっただ。

今回もメインナビゲーターのヒロキは子守りでフキコ、ダズさん、しゅんぺーさんの3人で出場。このメンバーも3回目になり安定感が出てきたのでトップゴールを目指す。

スタート直後、ダズさんがダッシュして先頭を走る。まずはスキー場直登だ。藪が濃くて行く手を阻まれてる間に道を見つけたチームが進み大行列。行列を進みCP1を取った後はゲレンデ中央のひらけた道を駆け降りた。

街ロゲ(タレの味-歌舞伎クイズ)を行って、CP6・7の山の中へ。前には年間2位の日本縦走計画とBunny worksがいた。早めに森へ入るチームの様子を伺いながら、ギリギリまでロードを走り森へ入る。どのチームも迷う事なくCPを取り差はあまり変わらなかった。

また街ロゲ(利き水)へ。どれがそこで湧いている湧き水か当てるものだが、正直全然わからない😅迷いに迷ってお腹はちゃぷちゃぷ。時間だけが過ぎて行く。わからないので、もう決めて行く事に。Aではない気がするしゅんぺーさんとCではない気がするダズさん、Bな気がするフキコ、意見が一致してBに決定。正解！間違えるとペナルティ10分、ショートレースでは命取りになるのでホッとした。ほとんどのチームが間違えていたが、日本縦走計画は正解してたので危なかった。

あとはイワナ釣りまでロードをひたすら走る。ここでロゲを逆走してきた日本縦走計画と会う。バチバチの展開だ。Bunny worksの後2分差でイワナ釣りへ。「餌はできるだけ小さく」とダズさんにアドバイスをもらいイワナの群れに竿を投げる。数分でBunny worksの伝説となった男性が釣り上げる。その後、ダズさんが1匹目ゲット。あと2匹、どちらが先に釣れるか。日本縦走計画はまだ釣れていない様子。そこでフキコにもヒット、続いてしゅんぺーさんも釣り上げ、急いで3人で捌いてTAへ向かう。他チームは苦戦しているようだ。体力だけでなくチームの総合力が試されるのがアドベンチャーレースの醍醐味！

MTBに乗り換え、後半戦へ！長い山道を登り、途中にあるCPの場所を見極めてMTBをデポする。なるべく後からきたチームにわからないように隠したいが、その時間ももたないないので、少し影に置いて山に入りCP9をゲット。デポした場所に戻ってきた時にちょうど

Bunny works と年間ランキング 3 位の冒険中毒がやってきた。「もっと先だった」「CP なかった」など芝居をしたが、笑われてみんな山に入って行った。思ったより近くにいる。

この後も MTB の登りが続くので体力のある 2 チームに追いつかれるのではないかとヒヤヒヤして急ぎたいが、しゅんぺーさんが攀りそうになって少しペースダウン。なんとか持ち直し進んでいたら、ダズさんのふくらはぎ急に攀りストップ。すぐにもちなおし林道入り口へ。CP10 からトレッキングかと思っていたら MTB だった。ランよりバイクの方が差が出にくそうだし、砂利道の登りは体力もテクニックもいるので、うちのチームとしてはラッキーだ。ギリギリ乗れる林道をひたすら登る。途中でフキコが岩をよけようと力んだ瞬間にふくらはぎが攀ってコケる。ダズさんに伸ばしてもらい回復。CP11 手前で MTB をデポして戻ってきた時はどのチームもいなかったの
で、差は開いてる感じた。最後の CP までもう一踏ん張りで登った。最後の CP を取って、もうあとは MTB でシャーっと降れば優勝だ！と気持ちよく降っていると、ダズさんの前輪がパンク 😞 まずい…完全には抜けてないのでとりあえず急いで空気を入れてシーラントが効いてくれることを祈りながら林道を抜ける。ここまで来ればもう大丈夫かと思っただ、空気漏れは止まらない。ロードでももう一回空気を入れてとにかくダッシュでゴールへ向かった。

なんとか逃げ切りトップゴール！このメンバーでのトップゴールは初めてで、ゴールにはメンバーのヒロキと娘が待っていてくれて最高に嬉しかった。

レース後は楽しみにしていた夜祭り。年間優勝賞品のニセコエクスペディションに向けて、また頑張るぞ！と美味しいお酒を飲み過ぎた(いつもだけど)楽しい夜でした。